

JIS

UDC 621.646.5 : 629.12.06

F 7368

船用青銅 10K 上昇式仕切弁

 JIS F 7368 -1996
(2002 確認)

平成 8 年 11 月 8 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和 35. 8. 1 改正：平成 8. 11. 8

官 報 公 示：平成 8. 11. 21

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 齋藤 隆一郎）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（〒100 東京都千代田区霞が関 2 丁目 1 一 3）又は工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 一 1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



船用青銅10K上昇式仕切弁

F 7368-1996

Shipbuilding—Bronze 10K rising stem type gate valves

1. 適用範囲 この規格は、船の蒸気管系、清水及び給水管系、燃料油及び潤滑油管系などに用いる青銅10K上昇式仕切弁（以下、仕切弁という。）について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS B 0207 メートル細目ねじ

JIS B 0222 29度台形ねじ

JIS B 2240 銅合金製管フランジ通則

JIS F 7102 船舶機関部管系用ガスケット及びパッキン使用基準

JIS F 7400 船用弁及びコックの検査通則

JIS G 5501 ねずみ鋳鉄品

JIS H 3100 銅及び銅合金の板及び条

JIS H 3250 銅及び銅合金棒

JIS H 3260 銅及び銅合金線

JIS H 5111 青銅鋳物

2. 流体の状態と最高使用圧力との関係 仕切弁に対する流体の状態と最高使用圧力との関係は、次の表1のとおりとする。

表1

流体の状態	最高使用圧力 MPa
油及び脈動水	1.0
飽和蒸気	0.2
120℃以下の静流体	1.4

3. 構造、形状及び寸法 仕切弁の構造、形状及び寸法は、付図1のとおりとし、弁箱肉厚 a の許容差は原則として $^{+15}_{-10}$ %とする。ただし、許容差の計算値が、0.5 mm未満の場合の許容差は、0.5 mmとする。

4. 材料 仕切弁の材料は、次のとおりとする。

(1) 弁箱、ふた、ふた押さえナット、弁体及び弁棒は、付図2のとおりとする。

(2) その他の材料は、原則として付図2による。

5. 検査 仕切弁の検査は、JIS F 7400の規定によって、次の(1)～(5)について行う。

(1) 材料検査

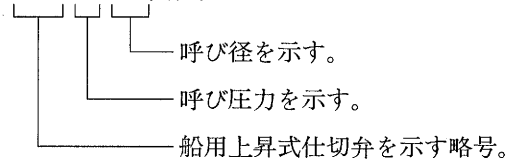
(2) 外観検査

- (3) 寸法検査
- (4) 組立検査
- (5) 耐圧検査 次の試験圧力で行う。
 - (a) 弁座水漏れ検査 1.54 MPa
 - (b) 弁箱水圧検査 2.1 MPa

6. 製品の呼び方 仕切弁の呼び方は、名称及び呼び径又はその略号による。ただし、名称の代わりに規格番号を用いてもよい。

例 呼び径15のもの

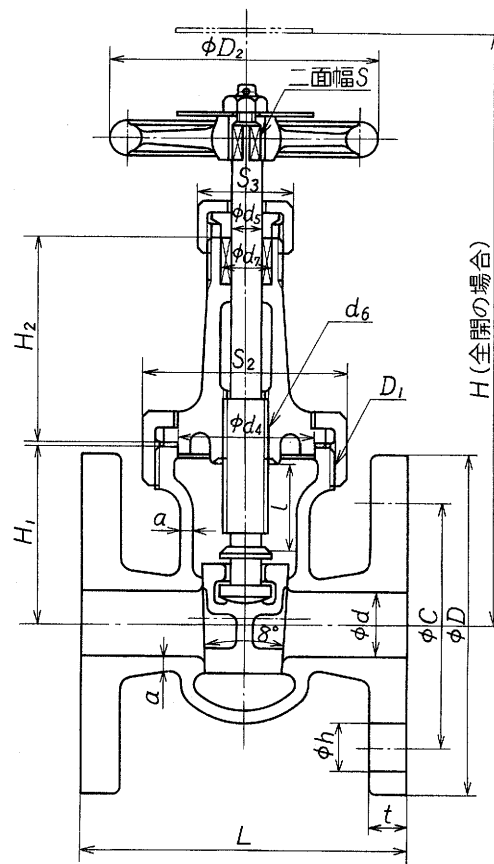
船用青銅10K-15上昇式仕切弁若しくはFSJ 10 015又はJIS F 7368-15



7. 表示 弁箱の表面に、次の事項を表示する。

- (1) 呼び圧力及び呼び径
 - 例 10K-15
- (2) 製造業者名又はその略号
- (3) 製造年月又はその略号

付図1



出入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

単位 mm

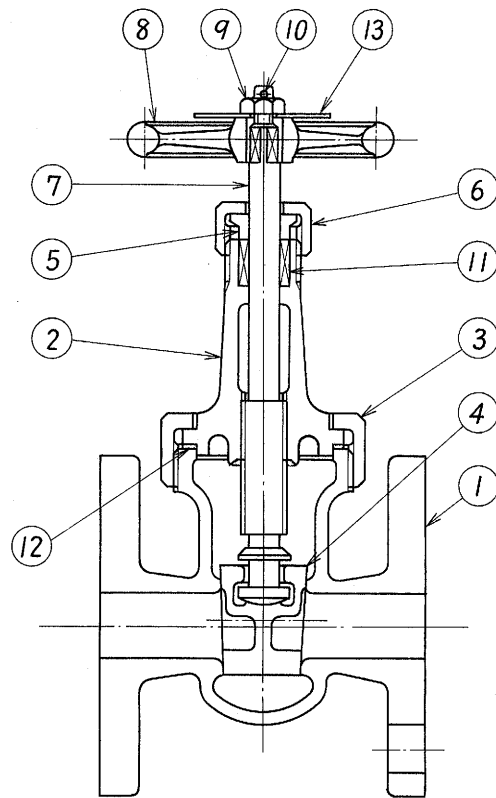
呼び径	フランジ										弁箱			ふたの高さ	弁棒			六角二面幅		参考 計算 質量 (kg)			
	d	L	D	ボルト穴		ボルトの ねじの 呼び	t	全開 高さ (約)	リフト (約)	ハンドル 車	ねじの 呼び	D ₁	d ₄		H ₂	ねじの 呼び	S	d ₇	S ₂		S ₃		
				中心 円の 径C	数																	h	ねじの 呼び
15	15	100	95	70	4	15	M12	12	175	21.5	80	3.5	50	M52×2	38	58	10	TW14	8	17	60	32	2.96
20	20	110	100	75	4	15	M12	14	200	27	80	4	58	M58×2	44	66	10	TW14	8	17	65	32	3.89
25	25	120	125	90	4	19	M16	14	220	32.5	100	4.5	65	M65×2	50	75	12	TW16	10	19	75	36	5.82
32	32	140	135	100	4	19	M16	16	250	39.5	100	5	75	M72×2	56	85	12	TW16	10	19	80	36	7.52
40	40	150	140	105	4	19	M16	16	290	48	125	6	85	M85×2	64	102	13	TW18	10	21	95	36	9.71

備考1. フランジは、JIS B 2240の呼び圧力10Kによる。

2. d₆部のねじはJIS B 0222, D₁部のねじはJIS B 0207の規定による。

3. 文字板は、注文者が要否を指定する。

付図2



部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	
3	ふた押さえナット	
4	弁体	
5	パッキン押さえ	JIS H 5111のBC6又はJIS H 3250のC3771BD
6	パッキン押さえナット	
7	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
8	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
9	六角ナット	JIS H 3250のC3771BD
10	割りピン	JIS H 3260のC2600W
11	パッキン	JIS F 7102の規定による。
12	ガスケット	
13	文字板	JIS H 3100のC2801P

備考 部品名称で太字のものの材料は、4.(1)に規定する材料を示す。

JIS F 7368 -1996

船用青銅 1OK 上昇式仕切弁 解説

この解説は、本体に規定した事柄、及びこれに関連した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1. 制定の目的

上昇式のこの規格を計画するに当たっては、40 mmよりも小さい仕切弁の要否を一応問題にした。

それは、一般に船の配管に小口径の仕切弁を使用した実績が乏しいためであったが、これについては、“従来は適当なものがなかったため、使われることがなかったが、船に適した規格が作られるならおのずから用途もできる”との結論になり、また、実際に必要を生じて規格の制定を待望される機運となって、この規格が制定された。

2. 制定・改正の経過及び改正の要旨

2.1 制定・改正の経過

制定・改正	原案作成団体又は会社	原案担当作業委員会	日本工業標準調査会 審議専門委員会	制定・改正年月日
1960年制定	日立造船株式会社	日本船舶工業標準協会 機関部会 関西地区委員会	船用弁専門委員会	昭和35年8月1日
(経過省略)				
1988年改正	財団法人日本船舶標準協会	財団法人日本船舶標準協会 機関部会 配管ぎ装品委員会 (委員長 江口嘉昌)	船舶部会 (専門委員会の審議 は省略)	昭和63年1月5日
1996年 (今回)改正	同上	—	同上	平成8年11月8日

2.2 改正の要旨

2.2.1 1988年

(1) 単位及び数値を国際単位系 (SI) とし、{ } を付けて従来単位及び数値を併記した。

なお、SIの導入 (第2段階) に当たっては、フランジ、継手など他の配管系機器JISとの整合を図るため、換算値方式を採用し、かつ、{ }内の数値は規格値とした。ただし、その期間は、SIが第3段階へ移行するなど前記整合の理由が解消されるまでの間とする。

(2) 水圧試験圧力をISO 5208 (Industrial valves—Pressure testing for valves) に基づき、水漏れ検査は最高使用圧力の1.1倍、水面計水圧検査は最高使用圧力の1.5倍に改めた。

(3) 引用規格番号及び図面表示の訂正を行った。

2.2.2 1996年 (今回) SI単位の第3段階移行によって、{ } 内の数値と単位を削除した。

新数値の採用によって規定値が従来単位換算値より2%増加された。呼び圧力は、従来どおりの呼びを採用した。

白
紙

JIS 規格票の正誤票が発行された場合は、下記の要領でご案内いたします。

- (1) 当協会発行の月刊誌「標準化ジャーナル」に、正・誤の内容を掲載いたします。
 - (2) 毎月第3火曜日に、「日経産業新聞」及び「日刊工業新聞」のJIS発行の広告欄で、正誤票が発行されたJIS規格番号及び規格名称をお知らせいたします。
- 発行された正誤票をご希望の方は、下記(営業)へご連絡頂ければご送付いたします。
なお、当協会のJIS予約者の方には、予約された部門で発行された正誤票は自動的に送付されます。

日本工業規格	船用青銅10K上昇式仕切弁	定価 412 円 (本体 400 円)
--------	---------------	------------------------

平成 8 年 12 月 31 日 第 1 刷発行

編集兼
発行人 福原元一

発 行 所

財団法人 日本規格協会

〒107 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24
電話 東京(03)3583-8071 (規格出版)
FAX 東京(03)3582-3372
電話 東京(03)3583-8002 (営業)
FAX 東京(03)3583-0462
振替口座 00160-2-195146


-
- | | | | |
|-------|------|--------------------------------|----------------------|
| 札幌支部 | 〒060 | 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 | 札幌大同生命ビル内 |
| | | 電話 札幌(011)261-0045 | FAX 札幌(011)221-4020 |
| | | 振替: 02760-7-4351 | |
| 東北支部 | 〒980 | 仙台市青葉区本町 3 丁目 5-22 | 宮城県管工事会館内 |
| | | 電話 仙台(022)227-8336(代表) | FAX 仙台(022)266-0905 |
| | | 振替: 02200-4-8166 | |
| 名古屋支部 | 〒460 | 名古屋市中区栄 2 丁目 6-12 | 白川ビル内 |
| | | 電話 名古屋(052)221-8316(代表) | FAX 名古屋(052)203-4806 |
| | | 振替: 00800-2-23283 | |
| 関西支部 | 〒541 | 大阪市中央区本町 3 丁目 4-10 | 本町野村ビル内 |
| | | 電話 大阪(06)261-8086(代表) | FAX 大阪(06)261-9114 |
| | | 振替: 00910-2-2636 | |
| 広島支部 | 〒730 | 広島市中区基町 5-44 | 広島商工会議所ビル内 |
| | | 電話 広島(082)221-7023, 7035, 7036 | FAX 広島(082)223-7568 |
| | | 振替: 01340-9-9479 | |
| 四国支部 | 〒760 | 高松市寿町 2 丁目 2-10 | 住友生命高松寿町ビル内 |
| | | 電話 高松(0878)21-7851 | FAX 高松(0878)21-3261 |
| | | 振替: 01680-2-3359 | |
| 福岡支部 | 〒810 | 福岡市中央区渡辺通り 2 丁目 1-82 | 電気ビル第 3 別館内 |
| | | 電話 福岡(092)761-4226 | FAX 福岡(092)761-7466 |
| | | 振替: 01790-5-21632 | |
-

株式会社 平文社 印刷・製本

Printed in Japan

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

Shipbuilding—Bronze 10K rising
stem type gate valves

 JIS F 7368⁻¹⁹⁹⁶

Revised 1996-11-08

Investigated by

Japanese Industrial Standards Committee

Published by

Japanese Standards Association

1-24, Akasaka 4-chome, Minato-ku

Tokyo, 107 JAPAN

Printed in Japan

定価 412 円 (本体 400 円)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。